

## 東京海洋大学海洋工学部オープンキャンパスに協力

日本船主協会は、2008年7月に「人材確保タスクフォース」を設置し、船員教育機関と連携しつつ優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。

今般、その一環として、東京海洋大学海洋工学部のオープンキャンパスに協力した。

**(写真はオープンキャンパスの当協会相談ブースの様子)**



2015年11月8日、東京海洋大学海洋工学部は、高校生とその保護者を対象に今年度2回目となるオープンキャンパスを開催、学部・入試説明会や同大学所有船の「やよい」の体験航海及びキャンパスツアー等の学内施設見学会が行われ、約300名が参加した。

当協会はキャリアコンパス～将来の仕事を見てみよう～という題目で海運産業や海技者の仕事について講演する機会を得たことから、東京海洋大学のOBでもある川崎汽船 水野幸輝機関長が講演を行った。



**水野機関長による講演の様子**

また、同学部が卒業後の進路等について相談を受けるべく設置した「相談コーナー」に当協会のブースが設けられ、現役機関長の視点から、当日講演も行った水野機関長と川崎汽船 木下弘也二等機関士が訪れた約30名の高校生や保護者からの相談に応じた。

参加者からは、海技者のキャリアパス、休暇、待遇、仕事で必要とされる英語力等について幅広い質問が寄せられた。参加者の中には女子学生も多く、女性船員の働く環境等についても質問が寄せられ、水野機関長、木下二等機関士がそれぞれの立場から丁寧に対応した。また、普段見ることのできない船での仕事の様子を実際の現場の写真を用いて説明したことから、参加者からは高い関心が伺われた。

当協会では、今後も船員教育機関と連携しつつ、優秀な日本人海技者確保に向けた活動を継続していく。



**質問に応じる講師の方々**

**(写真左 木下二等機関士、同右 水野機関長)**



**写真を使用しての説明の様子**